

対トランプ、募るいら立ち

【ロサンゼルス共同】メキシコのシェインバウム大統領が就任1年。同国初の女性大統領。前任から受け継いだ手厚い福祉政策を背景に高い支持率を維持する。最大の懸案は対米交渉だ。関税や麻薬対策を巡り高い要求を次々突き付けるトランプ政権に、シェインバウム氏はいら立ちを募らせている。

有力紙フィナンシエロが9月に実施した世論調査によると、①シェインバウム氏の支持率は73%で、同じ就任1年当時のロペスオブラドル前大統領を5割上回った。回答者の75%が社会保障政策を支持し、教育や貧富の格差が「改善した」との声が約半数を占めた。

シェインバウム氏は、トランプ大統領に対する批判的な言動を抑制。電話会談を重ねるなど対話路線を堅持し、追加関税措置の一部免除や延期を引き出した。「メキシコほどの水準で米政権と意思疎通を取れている国はない」と成果を誇る。

一方、トランプ氏はメキシコからの合成麻薬フェンタニル流入を問題視しており、シェインバウム政権は米国境地帯に治安部隊を増派するなど議



記者会見するメキシコのシェインバウム大統領＝メキシコ市（ゲッティ共同）

歩を余儀なくされた。

にもかかわらず、8月にはトランプ氏がメキシコを含む中南米の麻薬組織に対する軍事作戦の検討を国防総省に指示したと報じられた。米メディアは、要求に役えても満足しないトランプ政権にシェインバウム氏が「憤慨している」と伝えた。

男性優位主義（マチスモ）の文化が根強いメキシコでは、女性に対する暴力が社会問題となっている。男女平等を重視するシェインバウム氏は1月に②「女性省」を創設し、女性の権利向上に向けた取り組みを強化した。

ただ同国のジェンダー専門メディアは、捜査権がない女性省は暴力抑制を保証できないと指摘。「司法制度の大規模変革が必要だ」と主張した。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部①のように、支持率が高い理由を解答欄に合わせて本文中から26字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			～			
--	--	--	---	--	--	--

と考えているから。

2 トランプ大統領がメキシコに突き付けている要求を2つ、全て漢字で書きましょう。

3 トランプ氏が問題にしている麻薬の名前を書きましょう。

--

4 傍線部②に欠けているものは何でしょう。本文中から抜き出して書きましょう。

--

NIEワークシートのこたえ（2025年10月6日公開）

◆ワークシート「メキシコの女性大統領(社会)」
2025.10.4付 タ刊 5面 解答

- 1 社会保 ～ した」とかかんがえているから。
- 2 関税 麻薬対策 （順不同）
- 3 フェンタニル
- 4 捜査権